

平成28年度 第1回 防災委員会議事録

場所：(一社) 神奈川県建築士会 会議室

日時：平成28年5月24日(火) 午後6時～8時

出席者：東・(大西)・雨森・高戸・(内田)・山室・(村松)・丹治・遠藤・大橋・滝口 8名

事務局：中川 議事録作成：遠藤 () 内は欠席

□ 常任理事挨拶

- ・常任理事会、5/31 総会 PM 2:00～ 大勢で出席して下さい。
- ・熊本地震の対応について
熊本地震情報のアップを呼びかけ、九州地方の建築士会との情報交換のメール配信。
6/26 熊本へ視察に行く予定。6/25 九州ブロック研究集会(宮崎大会)へ参加予定。
- ・平成28年度連合会長表彰者候補は、横浜支部1名、小田原支部1名、相模原支部から遠藤。
伝統的技能者表彰は横浜支部から家具職人1名。

□ 委員長挨拶

- ・支部長・委員長会議にて
- ・委嘱状は会長名で委員全員に渡す。委嘱状を拒否する人の分も3月付で作成する。
会長名であるが、委員長から各委員に手渡しする。
- ・横浜支部の次期支部長に渡辺(副会長)が就任する予定が山成支部長は支部長を退任するが、理事としてH28年度中は留まるとのこと。
- ・川崎支部では熊本地震への募金箱を設置する。関東甲信越ブロックと連合会各100万、合計200万円を熊本県建築士会へ送金済み。
- ・連合会による単位建築士会に対する助成金について
平成24年度以降における当該助成金の配分等に係る執行方法について、毎年7月頃までに開催される支部長・委員長会議に諮って、その同意を得る事になります。
但し、当分の間半額の5万円は当該活動交流会を当番した支部に配分し、残りを申請委員会等へ配分されます。

□ 委員、支部近況等の報告

- ・各支部定期総会日程及び総会がらみの行事については、サロンなど掲載済みなので、以下省略。

□ 議 題

- ・前回3月29日の議事録確認 **=以下人事・役割分担=**
- ・副委員長(防災委員会規定4条の5により選任) =大橋氏
- ・会計担当=丹治氏、CPD・マガ担当=滝口氏、情報広報委員会担当=高戸氏
- ・支部長・委員長会議=東委員長、士業連絡協議会担当=大橋氏・雨森理事、HP担当=雨森理事(年6回更新・脇元氏へ依頼)
- ・書記は持ち回り=5月遠藤氏、7月高戸氏、9月丹治氏、11月滝口氏、1月山室氏、3月内田氏
委員会日程=原則第4火曜日だが、他行事との兼ね合いにより都度調整する。7月は全建女がらみで13日(水)とする。2500人を超える会員の安否確認システムの検討を要する。
事務局に防災用品等備蓄を行うよう検討する。(例として、乾パン・飲料水・缶詰・毛布・etc、30人×3日分とか……)
- ・防災連絡網の見直しを早急に行う(本日、欠席者以外で分かる範囲修正した)。
- ・今年度の活動方針について

被災県となった場合の備えが重要

熊本地震を教訓にして、委員会として取り組めることは何か

他県市町からの応援受け入れ態勢の構築について 「被災地対応マニュアル(仮称)」作成が急がれる。

(過去に静岡県や新潟県士会へ問い合わせたが災害担当部署が無いし、マニュアルも無いと適切な回答が得られなかった。 注:「防災委員会」が常設されているのは、東京都と神奈川県のみ)

被災県となった場合は、民間建築士も応急危険度判定の要請があると思われる。

士会として、統一服装・ユニフォームがあれば良好である。

罹災証明発行は現状行政職員の調査判定によるが、建築士が、関わる事が出来ないものか。

(協力、支援等)

・事業計画と年間スケジュール(事別紙スケジュール表参照)

- a. 7月23日の全建女奈良大会A分科会発表担当=浦女性委員長及び東防災委員長
- b. 女性委員会とのコラボセミナー担当=遠藤氏
- c. 外部講師を招いての講習会研修会担当=東委員長、滝口氏
- d. 士会支部活動交流会(11月3日厚木)発表担当=内田氏
- e. 視察・見学会など担当=東委員長、雨森理事
- f. 被災地マニュアル担当=(保留)
- g. 市町村担当部署一覧表製作担当=(保留)

・HPの更新(隔月・委員会の翌月に更新)6月、8月、10月、12月、2月、4月

・次回委員会の予定・平成28年7月13日(水)場所:建築士会会議室にて18時より

以上